

梅雨に入り各地で大雨が続き、土砂崩れ等のニュースをよく耳にしました。長雨の影響により、霊苑入口付近で少し崩れた箇所があり、現在修復作業中です。お参りの際には、ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、ご了承下さい。尚、墓地区画等については、元々地盤が堅固な場所である為、全ての箇所を確認しましたが、被害はありませんのでご安心下さい。

さて、昨年6月にナラタケモドキの発生を確認してから一年が経過しました。このナラタケモドキは以前通信でお伝えしましたが、伐採された広葉樹の切り株や枯れ木に生えてくる食用キノコです。傘の直径は3〜8cm位、色は黄褐色でナラタケやシメジに似ています。苑内の桜にとっては天敵なのですが、未だ壊滅という状態ではありません。ナラタケモドキが発生すると樹勢が衰退し、枯死する事態が生じます。そうなったら大変。昨年の対策に引き続き、今春はナラタケモドキ菌の繁殖を抑えるのに効果があるトリコデルマという拮抗菌を土壌灌注や散布を行いました。5月末の時点では発生しておらず、繁殖期を迎える梅雨のある晴れた日に、霊苑掃除を兼ねて様子を見に行きました。すると、



発見!!



↑ 見つけたキノコ

・・・でも、なーんか違う・・・ような？
事務所に戻り、昨年の写真と見比べて見ると、



まったくちがうやーん(笑)



あやうく、今晚の食卓に並ぶとこでした(冷汗) さて、そっかしい話はこのくらいにして、今回ナラタケモドキが見付からなかった事に「安心。昨年発症した7本の樹木には「ナラタケモドキ病 経過観察木」と記したプレートをつけています。どうか今後の経過を暖かく見守って下さい。

ナラタケモドキ病 経過観察木 (2018/4~)

洗淨キャンペーン 申込期間 8/3(水)迄

フロにお任せ下さい!
お墓のお悩み解決します!!



- ① 継ぎ目の水垢が気になる
- ② コケが生えている
- ③ 文字が見えにくい

いつまでも綺麗に保ち続けましょう。
まずはお電話下さい!
(詳細はお電話にて)

NEW!

霊苑からの眺めが大好き!
4月から勤務しています山下裕子です。皆様が霊苑や管理事務所に気持ちよく、楽しみとして足を運んで頂けるよう、笑顔で丁寧なご接待を心がけて参ります。

宜しく願いいたします!

大輪の蓮の花

霊苑にある数々の仏像彫刻を手掛けられた石井成観氏が、春に、愛知県から蓮の苗と鉢を持って来られ、植えられました。真如蓮・大瀧錦・瑞光蓮・艶陽天という4鉢それぞれ違う蓮です。育てるにあたり少し調べてみました。

- ・ 6月末〜8月頃、ピンクや白の花を咲かせる。
- ・ 早朝に咲き、夕方閉じる。4日で花は散ってしまう。
- ・ 水が泥水である程美しく大きな花を咲かせる。
- ・ 花言葉は「清らかな心」「離れゆく愛」「神聖」など。

蓮はお釈迦様の台座とされていますね。生まれて間もないお釈迦様が歩いた跡に蓮の花が咲いたという説もあります。「人生は苦しみ(泥水)である。苦しみなしに悟る(花)ことはできない」という教えにもつながっているようです。蓮をいただいた日は4月8日。お釈迦様のご生誕の日と言われている日で、不思議な縁を感じます。

来店されるお客様に、「珍しい蓮ね〜」「綺麗に咲いたね〜」等々、お声を頂いています。今では白や桃色のそれぞれの花が咲き始めています。どうぞ、見に来て下さいね!



梅雨も明け、夏の暑さが続き、スイカの美味しい季節になりました。先日は樹木葬関係者の皆様には、アンケートにご協力頂きまして、誠にありがとうございました。私達は今後も、自然豊かな奈良山霊苑を大切に守っていきたく思います。青空に入道雲が映え、これから暑さが厳しくなってきます。くれぐれも健康に気をつけて過ごして下さいね。



やまぼうしの花が咲きました(撮影:5月31日)

8月20日21日 展示会 開催!

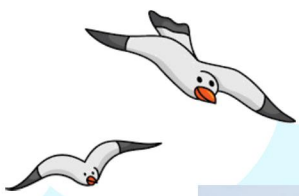
鬼北町のフジ広見店で、墓石等の展示会を行います。某墓石店さんの目の前ですが、臆さず開催したいと思っています! 組合長や営業マンと直接話ができる絶好の機会ですので、お墓に関する悩み事等を、聞きに来て下さい。お待ちしております!!



先祖墓霊域には、今まで手を合わせてきた墓石(棹石)を丁寧に重にお祀りしています。お参りに行きたくなったら、いつでも来て下さいね。

発行元：奈良山霊苑管理事務所
〒798-1351
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1
電話番号 0895-45-0164
http://narayama-reien.jp
営業時間 9:00~17:00

専務のコラム



会場：宇和島市大浦の赤松遊園地



去る7月7日、我が母校である愛媛県立宇和島東高等学校のボートレース大会が開催された。ボートでのクラスマッチは全国でも珍しいが、本校では既に100回を超える伝統行事である。

東高は、今年で創立120周年を迎えるが、数ある運動部の中でもボート部といえば創部以来、全国優勝数知れず、オリンピック選手や日本代表を輩出している名門中の名門である。過去何回も甲子園に出場し、全国優勝している野球部よりもボート部ははるかに「偉い」のである。その証拠に、入学すると校歌と同時にボート部の応援歌も覚えさせられるのだ。校歌は1つしかないが、ボート部応援歌は2つあり、しかも9番まである。なんてこった！

おまけにボート部にはOB会と後援会がそれぞれあり、特に後援会の会長ともなると、学校の式典や行事にも来賓として招待されるのだ。（そして何故か現会長は山下武久会長である。あれ？）



今年、私もPTA理事としてボートレースに参加させてもらった。高校時代はクラス代表で3年間ボートを漕いだが、それから数十年……。しかも男性仕様のフィクスという6人用のボートで、椅子に座ると足が届かない……。当然漕ぎ手は私以外男性ばかり。おまけに練習ではお尻の皮が剥けるというアクシデント。

しか〜〜し！これくらいの事でへこたれる私ではなかった！当日は、販売用のジュースを冷やすバケツを椅子に代用、身体的ハンデを乗り越えいざ、出陣！ちょっとお尻は痛いけど、競争となれば本気で行きまっせ！

対戦相手は体育会系の教師チームと、50歳〜70歳オーバーのボート部OBチーム。我が父兄&熟女のPTAチームはスタート前に高校3年の娘と友人たちの黄色い声援を受け、やる気満々やっただるでえ〜〜！

・・・と意気込んでスタートしたものの、50メートルも行かないうちにOBチームはまるで水面を滑るかのようによか彼方。実質、教師チームとの一騎打ちとなる。体育会系とはいえ、ボートは素人の筋肉先生達。負けてなるものかと必死で漕いだものの、ゴール寸前で半艇先を越されて惜しくも3位。色気がちょっと足りなかったかな〜、とか言いつつ、「反省会」と称した打ち上げになだれ込むのであった。

（夜の部ならダントツ優勝の自信アリ！）

